

子どもの本だな 146

このページは子どもたちにすすめた本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

りすのバナシ

リダぶん ロジヤンコフスキー
いしいももこ・わだゆういちやく
(福音館書店)

バナシは、森の古いもみの木でうまれた赤毛の子りすです。きょうだいたちともみの木のうえで楽しく遊びながら、お父さん、お母さんにたいせつなことを習います。しつぽをきれいにしてふくらませておくこと、まつぼっくりのかじり方、森にはおそろしい敵がいること。そしてふた月もたつと、森をかけ回れるようになりました。

ある日、バナシはお母さんの叫び声を聞いて、さつと枝に身を隠しました。木の下には初めてみる動物が2本足で立っています。よく見ようと頭をのぞかせたバナシは、森の番人に撃たれ、地面に落ちました。男の子が、毎日親切に世話をしてくれませんが、バナシは森が忘れられませんが、森の情景やりすの暮らしぶりが、こまやかかつ軽快に描かれ、やわらかな風合いの挿絵がその姿をいきいきと浮かびあがらせます。おりから逃げだしたバナシが、家族に再会する喜びに心温まります。読んでもらえば5歳から。
(秋澤)

図書館の本棚 473

クロナダイルに魅せられて

福田 雄介 著 みすず書房 (487.9)

著者は高校生のとき、担任教諭からあと1日でも休めば退学と言われていた。ある夜、テレビに映った、オーストラリアの大自然の中をゆつくりと泳ぐ巨大なワニの姿に釘付けに。さらに、ワニについて語る専門家を見た瞬間、雷に打たれたような衝撃を受け、「オーストラリアでワニの専門家になる」という夢を持つ。その日以降、一念発起して勉学に勤しみ、オーストラリアのチャールズ・ダーウィン大学に入学。イリエワニの研究に打ち込み、首席で大学を卒業後、ノーザンテリトリー政府の野生生物管理部署に就職し、ワニ業務に従事する。ある時、ワニによる子どもの死亡事故が起きたことで、大規模な駆除を求める世論が高まる。著者は過去に起きた事故の記録を集めてデータベースを完成させ、専ら人を襲っているのは体が大きくて気性の荒いオスのイリエワニであることや、被害に遭わないためには川に入らないことが重要であること等を論文にまとめた。それを基に、ワニに関する安全対策や注意喚起の関連政策が見直され、より強化された安全意識啓蒙キャンペーンが功を奏し、増加の一途を辿っていた事故件数が減少の兆しを見せ始めた。

著者は、仕事を続けながらオーストラリア国立大学で博士課程の研究を開始する。国境をまたいだワニの遺伝子研究で、イリエワニとされる現生種は、オセアニア諸国と東南アジア諸国の2つの集団に分かれ、同一種でも遺伝的に違うことを解明した。現在イリエワニは亜種を持たない単型種だが、これから研究が進み、二亜種が誕生する可能性があると考えられ、さらなる面白い発見が続くことに著者は心躍らせる。

ワニに情熱を持ち続ける著者は、これからも野生のワニを守るために、研究活動を追求したいと語っている。ワニが人間社会の片隅でどうにか生存しているように知恵を絞り、工夫を凝らす姿には胸を打たれる。今や著者は、彼が高校生のときにテレビで見て憧れたという専門家のように、多くの人に勇氣と希望を与える存在だろう。
(竹田)

< 一日図書館員を募集します >

本の整理、貸出や分類など図書館の仕事を体験してみませんか？

- ・日時：4月19日(日) 9:15~16:00
- ・対象：小学6年生~高校3年生
(図書館の利用者で、責任をもって仕事のできる人)
- ・定員：3名(申込多数の場合は抽選)
- ・申込：本人来館の上、図書館窓口で申込してください。
- ・申込期限：4月12日(日)18:00まで



4月の開館日							5月の開館日						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4						1	2
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23
26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30
							31						

▶ ×印は休館日

- ・祝日の振替休館
4/30、5/7、5/8
- ・館内整理日
4/27、5/29

※閉館時は返却ポストをご利用ください。

▶ 開館時間

10:00~18:00

※金曜日 10:00~20:00

4月	5月	4・5月の移動図書館 (いずれも木曜日)				
		※★のついている地域は時間変更をしました。				
9日	14日			福地(三反長) 地域内 14:30~ 14:50	米田 公会堂 15:00~ 15:20	竹広南 公民館 15:30~ 15:50
16日	21日			原池団地 公民館 15:00~ 15:20	山田 掲示板前 15:30~ 15:50	原 太田東地区 農村交流 センター 16:00~16:20
23日	28日	広坂 公民館 10:30~ 10:50	上太田 公民館 11:00~ 11:20	★太子 ニュータウン 公民館 14:40~ 15:00	★吉福 公民館 15:10~ 15:30	★塚森 地域内 15:40~ 16:00



地下水

図書館の仕事は館内だけではない。本を必要としている方のもとへ出向く「移動図書館」も、大切な役割のひとつである。私たちは、毎月2人1組で3日に分けて各地区に回り、図書館への来館が困難な方へ本を届けている。担当者が、それぞれの利用者の好みを考慮しながら本を選び、20冊以上つめこんだコンテナを、多い時には10数箱を用意する。真夏の暑い時期や冬の極寒の日でも屋外で行うため、暑さにも寒さにも弱い私は、小型扇風機やカイロが必須である。だが、「毎月来てくれるのが楽しみなの。」「この本面白かった!」といった言葉に励まされている。勤務当初は本を運ぶことで精一杯であったが、今では利用者のニーズを踏まえた選書を心がけている。

令和7年度からは子育て支援センター「ひまはび」への貸出が始まり、その影響もあってか、2~3歳の子どもと保護者を対象にした「絵本の時間」に参加する人数も増えた。そして、令和8年度からは石海保育園への巡回も決まっている。新しい取り組みには大変なことも多いが、これから多くの方に本を届けられるよう、工夫を重ねていきたい。

(溝渕)